

外科的侵襲が食道癌術後の長期予後に与える影響に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月～2014年12月の間に、当院において食道癌に対する食道切除を行い、周術期の血清にて、IL-6等のmediatorが測定され、かつ詳細な予後が判明している120症例です。

2. 研究目的・方法

臨床病理学的特徴及び全生存率、疾患特異的生存率などの長期予後を検討します。研究期間は、防衛医科大学校長承認後から令和2年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、検査データ、カルテ番号 等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究成果を学会報告や学術雑誌等で公に発表する際は、研究参加者の個人情報が明らかにされない形式で発表します。

研究責任者： 防衛医科大学校 外科学講座 矢口 義久

連絡先： 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL： 04-2995-1211（内線 2356）